

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	久利まちづくりセンター			No.	1
大分類	01市民文化系施設				
小分類	まちづくりセンター				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	中央
地区	久利

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であり、又災害時の指定緊急避難場所であることから施設を維持することが必要な施設である。 当該施設は、耐震基準及び建築基準法の基準を満たしていない。今後は、多機能を集約する形で施設改修等を行う必要がある。 その対応として、⑤複合化（久屋小学校等との複合化）、⑥縮小建替え（適正規模の施設）、複数の施設評価ができる。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
独自	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
評価が達成される年度			年度					

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	施設の在り方について方針の協議 (庁内関係部署による協議)		施設整備のスケジュール構成を修正した。
第2期	2022年度	施設の在り方について方針の協議 (庁内関係部署による協議)	目標・取り組みを達成	
	2023年度	施設の在り方について方針の協議 (庁内関係部署による協議)		
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和28年
建物延面積	601.76 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(基準未満)
Is値	0.29
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため。
適正化計画上の実施方針	近隣施設内への機能移転を行い、現施設は廃止を原則とする。ただし、機能移転が困難な場合は、必要最小限の建て替えを行い、類似機能などの共有化を検討する。

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	23,333円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		23,333円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,310,722円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,310,722円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-1,287,389円	市民一人あたり税金充当額	-40円/人
	延床面積あたり税金充当額		-2,139円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-3,527円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	あり	なし	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数			5911	6315	4350	5036	5148	5,352	96%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	波根まちづくりセンター			No.	2
大分類	01市民文化系施設				
小分類	まちづくりセンター				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	東部
地区	波根

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であり、又災害時の指定緊急避難場所であることから施設を維持することが必要な施設である。 当該施設は、耐震基準を満たしていない。 その対応として、⑤複合化(朝波小学校等との複合化)、⑥縮小建替え(適正規模の施設)、複数の施設評価ができる。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
 ※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	評価が達成される年度	2028年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	施設の在り方について方針の協議 (庁内関係部署による協議)		
第2期	2022年度	施設の在り方について方針の協議 (庁内関係部署による協議)	進捗していない	
	2023年度	施設の在り方について方針の協議 (庁内関係部署による協議)		
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和26年
建物延面積	504.53 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(基準未滿)
Is値	0.35
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため。
適正化計画上の実施方針	近隣施設内への機能移転を行い、現施設は廃止を原則とする。ただし、機能移転が困難な場合は、必要最小限の建て替えを行い、類似機能などの共有化を検討する。

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	38,977円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		38,977円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,012,106円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,012,106円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-973,129円	市民一人あたり税金充当額	-30円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,929円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-2,666円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	あり	なし	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数			4691	4098	3400	3480	3454	3,824	90%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	仁万まちづくりセンター		No.	3
大分類	01市民文化系施設			
小分類	まちづくりセンター			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
有	計画名			計画期間
無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	仁摩
地区	仁万

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当する	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であり、又災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設である。当該施設は、耐震基準を満たしている。 その対応として④（仁摩支所との統合）⑤複合化（近隣の公共施設（仁摩生涯学習センター、農村環境改善センター、保健センターとの複合化）、⑥縮小建替え（適正規模の施設）等の複数の施設評価ができる。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2028年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 施設の在り方について方針の協議 (庁内関係部署による協議)		
第2期	2022年度 施設の在り方について方針の協議 (庁内関係部署による協議)	進捗していない	
	2023年度 施設の在り方について方針の協議 (庁内関係部署による協議)		
	2024年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和47年
建物延面積	1,152.00 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
ls値	0.82
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	108,353円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		108,353円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	90,200円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	538,369円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		628,569円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-520,216円	市民一人あたり税金充当額	-16円/人
	延床面積あたり税金充当額		-452円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-1,425円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	あり	なし							
年間利用人数			7684	7510	5243	6057	6826	6,664	102%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	宅野まちづくりセンター		No.	4
大分類	01市民文化系施設			
小分類	まちづくりセンター			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	仁摩
地区	宅野

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当する	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であり、又災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設である。当該施設は、耐震改修済みである。 その対応として④統合（仁摩伝統芸能伝承館との統合）、⑥縮小建替え（適正規模の施設）、複数の施設評価ができる。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
 ※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
	利用開始							
独自	用途廃止・解体工事							
評価が達成される年度		2028年度						

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 施設の在り方について方針の協議 (庁内関係部署による協議)		
第2期	2022年度 施設の在り方について方針の協議 (庁内関係部署による協議)	進捗していない	
	2023年度 施設の在り方について方針の協議 (庁内関係部署による協議)		
	2024年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和55年
建物延面積	566.25 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨造
耐震の有無	旧耐震(耐震済)
Is値	0.79
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	27,590円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		27,590円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	7,012,500円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,105,618円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		8,118,118円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-8,090,528円	市民一人あたり税金充当額	-249円/人
	延床面積あたり税金充当額		-14,288円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-22,166円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	有	無	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数	あり		1932	2109	1983	1740	1779	1,908	93%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	佐津目バス車庫		No.	5
大分類	14その他(普通財産を含む)			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	三瓶
地区	山口

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	現在は、石見交通（株）の山口線のバス回転場として使用していることから、建物は解体しても支障はない。しかし、市や石見交通（株）以外の所有となると、バス回転場として使用できなくなることから、民間移管については、石見交通（株）に限定される。民間移管の場合、建物解体の有無について検討が必要。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	評価が達成される年度	2027年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		建物の解体あるいは民間移管という方針が決定。 建物の解体あるいは民間移管の方針だが、民間移管の場合、建物解体の有無について検討が必要。
第2期	2022年度	地元住民に地域移管の意向を確認したが、意向はないとのことだった。	進捗していない	施設の在り方について検討。
	2023年度	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和 29 年
建物延面積	110.00 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	—
摘要欄	土石流警戒区域内に立地

関連条例等	—
設置(目的等)	路線バス終点地である旧佐津目分校校舎を車庫として利用するため。
適正化計画上の実施方針	民間移管または地域移管を原則とする。ただし、民間移管、地域移管が困難な場合は現施設を廃止する。

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他	23,204円	保険料、水道料金	上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	井田バス線車庫		No.	6		担当部署名	政策企画部まちづくり定住課	
大分類	14その他(普通財産を含む)							
小分類	その他							
個別施設計画(長寿命化計画)の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画)マニュアル・ガイドラインの名称						
有	計画名				計画期間			改定・見直し時期
無	策定期限		今後の策定予定の有無	なし	策定しない場合理由	将来的には解体するため		

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる施設評価チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を選択した理由	地元も移管を受ける意向がないため廃止とするが、解体の時期については、検討が必要。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期(2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
独自								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色			

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		解体の方針が決定。 地元も移管を受ける意向がないため廃止とするが、解体の時期については、検討が必要。
第2期	2022年度	解体時期を検討	進捗していない 解体時期について検討する。
	2023年度	解体時期を検討	
	2024年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和 29 年
建物延面積	64.00 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	警戒区域設定なし

関連条例等	大田市生活バス運行に関する条例
設置(目的等)	地域住民の交通手段の確保を図り、公共の福祉に資するため設置する生活バス運行事業の実施
適正化計画上の実施方針	民間移管または地域移管を原則とする。ただし、民間移管、地域移管が困難な場合は現施設を廃止する。

【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	21,736円	保険料、光熱水費	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		21,736円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-21,736円	市民一人あたり税金充当額	-1円/人
	延床面積あたり税金充当額		-340円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-60円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	富山まちづくりセンター		No.	7
大分類	01市民文化系施設			
小分類	まちづくりセンター			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	東部
地区	富山

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	移転実施済
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であり、又災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設である。 旧富山小学校の一部を活用した整備を完了後に機能移転し、旧富山まちづくりセンターは解体工事を実施した。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2019年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 旧富山小学校への移転改修工事実施。 現存の富山まちづくりセンターの解体工事。 R2.1月頃、移転先にて富山まちづくりセンター業務の開始。		
第2期	2022年度		
	2023年度		
	2024年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和 56 年
建物延面積	349.61 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨造
耐震の有無	旧耐震(基準未満)
Is値	0.25
摘要欄	

関連条例等	①大田市多目的集会施設の設置及び管理に関する条例 ②大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	①地域農業振興並びに地域連帯意識の高揚及び生活の改善により、健康で文化的なまちづくりを図るため ②大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	近隣施設内への機能移転を行い、現施設は廃止を原則とする。ただし、機能移転が困難な場合は、必要最小限の建て替えを行い、類似機能などの共有化を検討する。

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	834	847	—	—	—	336	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	富山まちづくりセンター		No.	7
大分類	01市民文化系施設			
小分類	まちづくりセンター			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
有	計画名			計画期間
無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	なし 策定しない場合 理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	東部
地区	富山

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	③地域移管
『該当する』を 選択した理由	令和元年度に旧富山小学校の一部を改修し、富山まちづくりセンターを移転した。当面、既存施設を小さな拠点として活用していく予定であるが今後、地域運営組織等が設立され地域運営態が確立できた段階で、地域に移管することを検討。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2028年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 旧富山小学校へ移転改修工事実施。 R2.1月～移転先にて富山まちづくりセンター業務の開始。		
第2期	2022年度		
	2023年度		
	2024年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成9年
建物延面積	2,035.40 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	令和元年度、まちセン部改修

関連条例等	①大田市多目的集会所の設置及び管理に関する条例 ②大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	①地域農業振興並びに地域連帯意識の高揚及び生活の改善により、健康で文化的なまちづくりを図るため ②大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	近隣施設内への機能移転を行い、現施設は廃止を原則とする。ただし、機能移転が困難な場合は、必要最小限の建て替えを行い、類似機能などの共有化を検討する。

【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	14,021円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		14,021円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	24,200円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,788,107円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,812,307円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-1,798,286円	市民一人あたり税金充当額	-55円/人
	延床面積あたり税金充当額		-884円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-4,927円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無								
	無	あり	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数			—	—	1504	1582	1599	937	170%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	志学まちづくりセンター		No.	8
大分類	01市民文化系施設			
小分類	まちづくりセンター			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	計画期間	
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	三瓶
地区	志学

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	⑥縮小建替え 済
『該当する』を 選択した理由	令和3年度、志学小・中学校校庭内に縮小建て替えを行った。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
独自	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色			

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和 48 年
建物延面積	257.00 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(基準未満)
Is値	0.25
摘要欄	急傾斜地の崩壊警戒区域に立地、特別警戒区域に隣接

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	近隣施設内への機能移転を行い、現施設は廃止を原則とする。ただし、機能移転が困難な場合は、必要最小限の建て替えを行い、類似機能などの共有化を検討する。

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	—	—	—	—	—		

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	北三瓶まちづくりセンター			No.	9
大分類	01市民文化系施設				
小分類	まちづくりセンター				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	三瓶
地区	山口

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当する	該当しない	該当する	該当する	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であり、又災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設であり、また、施設内には山口診療所が存在する。耐震基準は満たしている。 その対応として⑤北三瓶小中学校との複合化、複合化が困難である場合、現地以外の場所で縮小建替えを検討する。また、民間及び地域移管についても検討されるため、複数の施設評価ができる。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
独自	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
評価が達成される年度		2028年度			←塗りつぶし使用色			

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	トイレについて、男女を区別し、水洗化を行う。		トイレの改修工事を実施。
第2期	2022年度	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	進捗していない	
	2023年度	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和 58 年
建物延面積	220.00 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震基準
Is値	-
摘要欄	土石流警戒区域内に立地 急傾斜地の崩壊警戒区域、特別警戒区域に隣接

関連条例等	①大田市多目的集会施設の設置及び管理に関する条例 ②大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	①地域農業振興並びに地域連帯意識の高揚及び生活の改善により、健康で文化的なまちづくりを図るため ②大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	16,688円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		16,688円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	630,391円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		630,391円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-613,703円	市民一人あたり税金充当額	-19円/人
	延床面積あたり税金充当額		-2,790円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-1,681円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	有	無	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数	あり		1758	1758	411	449	687	1,012	67%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	北三瓶まちづくりセンター多根分館		No.	10
大分類	01市民文化系施設			
小分類	まちづくりセンター			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	三瓶
地区	多根

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	閉館となっており、令和3年度に廃止とした。 まちづくりセンター機能は、北三瓶まちづくりセンターへ統合。 地域移管についても検討した結果、地元の多根自治会に譲渡した。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
	利用開始							
独自	用途廃止・解体工事							
評価が達成される年度		2022年度			←塗りつぶし使用色			

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	地元協議		地域自治会等が施設を取得する意思を有しているか、地元と話し合いを行う。
第2期	2022年度	地元協議	目標・取り組みを達成	地元の多根自治会へ譲渡。
	2023年度			
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和 10 年
建物延面積	415.27 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(基準未滿)
Is値	0.22
摘要欄	土石流警戒区域内に立地

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	廃止とする。(北三瓶まちづくりセンターに機能統合)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	23,453円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		23,453円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-23,453円	市民一人あたり税金充当額	-1円/人
	延床面積あたり税金充当額		-56円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-64円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	558	580	350	—	—	297	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	水上まちづくりセンター			No.	11
大分類	01市民文化系施設				
小分類	まちづくりセンター				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	高山
地区	水上

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であり、又災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設である。耐震改修工事は実施済み。 その対応として、⑤大田市立第三中学校との複合化、複合化が困難な場合は現地以外の場所で⑥縮小建替え等の複数の施設評価ができる。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	評価が達成される年度	2028年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
第2期	2022年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	進捗していない	
	2023年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
	2024年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和 52 年
建物延面積	363.07 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(耐震済)
Is値	1.25
摘要欄	耐震化実施済み 急傾斜地の崩壊警戒区域内に立地

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	26,761円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		26,761円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	135,050円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	962,123円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,097,173円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-1,070,412円	市民一人あたり税金充当額	-33円/人
	延床面積あたり税金充当額		-2,948円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-2,933円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	あり	なし	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数			6062	6787	4895	4613	3559	5,183	68%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大代まちづくりセンター		No.	12
大分類	01市民文化系施設			
小分類	まちづくりセンター			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	高山
地区	大代

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であり、又災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設である。 その対応として、⑤旧大代小学校との複合化、複合化が困難な場合は現地以外の⑥による縮小建替え等複数の評価ができる。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
独自	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
評価が達成される年度		2028年度			←塗りつぶし使用色			

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
第2期	2022年度	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	進捗していない	
	2023年度	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和 55 年
建物延面積	350.49 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨造
耐震の有無	旧耐震(基準未滿)
Is値	0.48
摘要欄	

関連条例等	①大田市多目的集会施設の設置及び管理に関する条例 ②大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	①地域農業振興並びに地域連帯意識の高揚及び生活の改善により、健康で文化的なまちづくりを図るため ②大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	近隣施設内への機能移転を行い、現施設は廃止を原則とする。ただし、機能移転が困難な場合は、必要最小限の建て替えを行い、類似機能などの共有化を検討する。

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	50,272円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		50,272円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	853,631円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		853,631円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-803,359円	市民一人あたり税金充当額	-25円/人
	延床面積あたり税金充当額		-2,292円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-2,201円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	無	あり	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数			1529	2303	2190	2470	2159	2,130	101%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大国まちづくりセンター		No.	13	担当部署名	政策企画部まちづくり定住課	
大分類	01市民文化系施設						
小分類	まちづくりセンター						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名			計画期間		
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由		改定・見直し 時期	

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であり、又災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設である。耐震補強済みである。 近隣に統合又は複合化可能な施設が無いため、⑥縮小建替えによる建て替えを検討する。また、施設の民間・地域移管についても検討できる。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	評価が達成される年度	2028年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
第2期	2022年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	進捗していない	
	2023年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
	2024年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和 56 年
建物延面積	366.00 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨造
耐震の有無	旧耐震(耐震済)
Is値	0.79
摘要欄	土石流警戒区域内に立地

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	13,312円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		13,312円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,147,234円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,147,234円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-1,133,922円	市民一人あたり税金充当額	-35円/人
	延床面積あたり税金充当額		-3,098円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-3,107円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	あり	なし	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数			2045	1773	1059	849	835	1,312	63%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	旧坂根邸		No.	14
大分類	01市民文化系施設			
小分類	交流・イベント施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	計画期間	
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	中央
地区	川合

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	②民間移管
『該当する』を 選択した理由	耐震基準を満たしていない施設であるため、廃止を原則とする。 民間企業から古民家としての価値に対する問い合わせもあるため、民間への移管を検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	評価が達成される年度	2028年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
第2期	2022年度	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	進捗していない	
	2023年度	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	不明年
建物延面積	366.67 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	-
設置(目的等)	-
適正化計画上の実施方針	民間移管または地域移管を原則とする。ただし、民間移管、地域移管が困難な場合は現施設を廃止する。

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	16,622円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		16,622円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-16,622円	市民一人あたり税金充当額	-1円/人
	延床面積あたり税金充当額		-45円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-46円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田まちづくりセンター			No.	15
大分類	01市民文化系施設				
小分類	まちづくりセンター				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であり、又災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設である。耐震補強済みであるが、現在、老人福祉センターと複合施設となっている。また、棟続きの大田市民会館との施設の在り方について検討が必要である。2022年度より、サンレディー大田の廃止に関連し、女性の家部分を大田まちづくりセンターとする方針で準備を進めている。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
第2期	2022年度	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
	2023年度	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議) 施設利用者への説明会を実施		
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和 38 年
建物延面積	340.41 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	0.83
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】

※写真は、市民会館、市民センターを参照

※大田まちづくりセンターは、大田市民会館内に所在

## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	189,718円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		189,718円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	316,816円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		316,816円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-127,098円	市民一人あたり税金充当額	-4円/人
	延床面積あたり税金充当額		-373円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-348円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	あり	なし	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数			30949	27314	12260	15074	21485	21,416	100%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	温泉津まちづくりセンター			No.	17
大分類	01市民文化系施設				
小分類	まちづくりセンター				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であり、又災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設である。 当施設は、耐震基準を満たしている。④(温泉津支所との複合化)複合化が出来ない場合には⑥縮小建替え(適正規模の施設)、複数の施設評価ができる。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	評価が達成される年度	2028年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		全まちづくりセンターの中での優先順位について、方向性を決定した。
第2期	2022年度	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	進捗していない	
	2023年度	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和56年
建物延面積	1,733.42 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
Is値	0.85
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	102,741円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		102,741円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	746,504円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,140,658円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,887,162円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-1,784,421円	市民一人あたり税金充当額	-55円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,029円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-4,889円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	有	無	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数	あり		7946	12865	7866	7156	4878	8,142	59%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	鳥井まちづくりセンター			No.	147
大分類	01市民文化系施設				
小分類	まちづくりセンター				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	西部
地区	鳥井

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であり、又災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設である。 新耐震施設であるが、耐用年数は超過しているため、今後施設の建て替えを含めて検討が必要となる。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
独自	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色			

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	トイレ改修工事を発注。		トイレ改修工事を実施した。
第2期	2022年度	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	進捗していない	
	2023年度	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和57年
建物延面積	346.18 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	40,363円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		40,363円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,027,579円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,027,579円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-987,216円	市民一人あたり税金充当額	-30円/人
	延床面積あたり税金充当額		-2,852円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-2,705円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	有	無	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数	あり		4210	4778	4348	4231	2650	4,043	65%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	馬路まちづくりセンター			No.	148
大分類	01市民文化系施設				
小分類	まちづくりセンター				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	仁摩
地区	馬路

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当する	⑥縮小建替え
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であり、又災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設である。 新耐震施設であるが、塩害等により施設劣化が著しい。施設の建替えが必要。 2023年度中に建替えを予定。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2028年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
第2期	2022年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標・取り組みを達成	住民から、安心して利用できる公共施設整備の声があるため、今後も住民と協議を重ねる。
	2023年度 当該年度中に建替えを予定。		
	2024年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和57年
建物延面積	419.85 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	21,798円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		21,798円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,035,899円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,035,899円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-1,014,101円	市民一人あたり税金充当額	-31円/人
	延床面積あたり税金充当額		-2,415円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-2,778円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	あり	なし	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数			3254	4081	2389	2199	2434	2,871	84%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	久手まちづくりセンター			No.	157
大分類	01市民文化系施設				
小分類	まちづくりセンター				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	東部
地区	久手

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	⑥縮小建替え
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であり、又災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設である。 新耐震施設である。⑥縮小建替えが考えられる。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2028年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
第2期	2022年度	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	進捗していない	
	2023年度	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和58年
建物延面積	565.55 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	74,538円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		74,538円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	50,160円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,186,743円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,236,903円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-1,162,365円	市民一人あたり税金充当額	-36円/人
	延床面積あたり税金充当額		-2,055円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-3,185円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	無	あり	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数			8601	8417	4914	8871	8330	7,826	106%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	五十猛まちづくりセンター			No.	158
大分類	01市民文化系施設				
小分類	まちづくりセンター				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	西部
地区	五十猛

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であり、又災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設である。 新耐震施設であるが、多機能を集約して⑤複合化が現在の機能を確保した上での⑥縮小建替えが考えられる。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
独自	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
評価が達成される年度		2028年度			←塗りつぶし使用色			

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成5年
建物延面積	498.12 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	40,488円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		40,488円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	273,900円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,238,183円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,512,083円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-1,471,595円	市民一人あたり税金充当額	-45円/人
	延床面積あたり税金充当額		-2,954円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-4,032円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	有	無	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数	あり		7063	7197	5771	4447	4093	5,714	71%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大屋まちづくりセンター			No.	163
大分類	01市民文化系施設				
小分類	まちづくりセンター				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	中央
地区	大屋

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であり、又災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設である。 新耐震施設である。他地区の施設と⑤複合化が現機能を確保した上での⑥縮小建替えが考えられる。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2028年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成7年
建物延面積	1,171.80 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	110,193円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		110,193円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,875,687円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,875,687円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-1,765,494円	市民一人あたり税金充当額	-54円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,507円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-4,837円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	あり	なし	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数			2612	3815	2449	2943	3185	3,000	106%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	静岡まちづくりセンター			No.	164
大分類	01市民文化系施設				
小分類	まちづくりセンター				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	西部
地区	静岡

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であり、又災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設である。 新耐震施設である。他施設と⑤複合化が現機能を確保した上での⑥縮小建替えが考えられる。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
独自	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
評価が達成される年度		2028年度			←塗りつぶし使用色			

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成7年
建物延面積	570.00 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	88,135円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		88,135円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	73,260円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,960,733円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		2,033,993円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-1,945,858円	市民一人あたり税金充当額	-60円/人
	延床面積あたり税金充当額		-3,414円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-5,331円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	あり	なし	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数			10379	8011	5709	4277	4677	6,610	70%

### 1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	湯里まちづくりセンター		No.	165
大分類	01市民文化系施設			
小分類	まちづくりセンター			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	計画期間	
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	温泉津
地区	湯里

### 2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であり、又災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設である。 新耐震施設である。旧湯里小学校を活用した施設であるため、当面は継続管理する。							

### 3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
独自	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
評価が達成される年度		2028年度			←塗りつぶし使用色			

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成12年
建物延面積	1,541.00 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	190,191円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		190,191円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	110,000円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	2,046,807円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		2,156,807円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-1,966,616円	市民一人あたり税金充当額	-60円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,276円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-5,388円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	有	無	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数	あり		7929	7756	6102	7166	7344	7,259	101%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	波根駅集会所			No.	166
大分類	01市民文化系施設				
小分類	集会所				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	東部
地区	波根

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	JRから無償譲渡を受けた施設だが、JRは行政以外の譲渡は認めていない。 建築から長い年月が経っているため、廃止する方向であるが、継続的な利用・管理が担保されるのであれば、耐震補強あるいは規模縮小建替えを検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		地元譲渡の可否、耐震補強あるいは規模縮小について検討
第2期	2022年度	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)	進捗していない	地元譲渡の可否、耐震補強あるいは規模縮小について検討
	2023年度	施設の在り方について検討 (関係機関で協議、利用者等への説明)		
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成12年
建物延面積	90.09 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	警戒区域設定なし

関連条例等	大田市小規模集会所の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	旧駅舎の活用により地域の振興と発展を図り、もって住民の福祉の充実進展に寄与することを目的として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料	122,370円		指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	131,648円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	9,887円	保険料、浄化槽 法定検査料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		263,905円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-263,905円	市民一人あたり税金充当額	-8円/人
	延床面積あたり税金充当額		-2,929円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-723円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	あり	なし	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)		
年間利用人数	あり		581	552	347	225	285	398	71%

### 1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	久手駅集会所		No.	167	担当部署名	政策企画部まちづくり定住課	
大分類	01市民文化系施設				ブロック	東部	
小分類	集会所				地区	久手	
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
有	計画名			計画期間		改定・見直し 時期	
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由		

### 2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	JRから無償譲渡を受けた施設だが、建築から長い年月が経っていることに加え、地元も駅舎の存続を望んでいないため。							

### 3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		地元譲渡の可否、耐震補強あるいは規模縮小について検討
第2期	2022年度 施設の在り方について検討 (関係機関で協議)	進捗していない	地元譲渡の可否、耐震補強あるいは規模縮小について検討
	2023年度 施設の在り方について検討 (関係機関で協議、利用者等への説明)		
	2024年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成10年
建物延面積	98.98 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
ls値	—
摘要欄	警戒区域設定なし

関連条例等	大田市小規模集会所の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	旧駅舎の活用により地域の振興と発展を図り、もって住民の福祉の充実進展に寄与することを目的として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料	122,409円		指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	19,800円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	9,369円	保険料、浄化槽 法定検査料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		151,578円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-151,578円	市民一人あたり税金充当額	-5円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,531円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-415円/日

## (3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	2,650	779	335	413	404	916	44%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	静岡駅集会所			No.	168
大分類	01市民文化系施設				
小分類	集会所				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	西部
地区	静岡

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	JRから無償譲渡を受けた施設だが、JRは行政以外の譲渡は認めていない。 建築から長い年月が経っているため、廃止する方向であるが、継続的な利用・管理が担保されるのであれば、耐震補強あるいは規模縮小建替えを検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		地元譲渡の可否、耐震補強あるいは規模縮小について検討
第2期	2022年度	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)	進捗していない	地元譲渡の可否、耐震補強あるいは規模縮小について検討
	2023年度	施設の在り方について検討 (関係機関で協議、利用者等への説明)		
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成9年
建物延面積	120.49 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	浸水深：0.5m未満 急傾斜地の崩壊：警戒区域

関連条例等	大田市小規模集会所の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	旧駅舎の活用により地域の振興と発展を図り、もって住民の福祉の充実進展に寄与することを目的として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料	149,027円		指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	10,056円	保険料、浄化槽 法定検査料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		159,083円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-159,083円	市民一人あたり税金充当額	-5円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,320円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-436円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	あり	なし	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)		
年間利用人数			2650	779	287	349	159	844	18%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田市駅前自転車等駐輪場		No.	169
大分類	14その他（普通財産を含む）			
小分類	駐車場・駐輪場			
個別施設計画（長寿命化計画）の策定有無	なし	個別施設計画（長寿命化計画）マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	計画期間	
無	策定期限	今後の策定予定の有無	あり	策定しない場合理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる施設評価チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を選択した理由	JR利用者用の駐輪場は、JRが整備しないため、市において施設を整備、維持管理する必要がある。近年の少子高齢化、モータリゼーションの進展、飛行機等他の輸送機関との競争等により、JR利用者が減少していることから、大規模修繕が必要になった場合は廃止あるいは縮小建替えを行う。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期(2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		施設の在り方について検討 (関係機関で協議)
第2期	2022年度 施設の在り方について検討 (関係機関で協議)	進捗していない	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)
	2023年度 施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		
	2024年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成15年
建物延面積	210.39 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	警戒区域設定なし

関連条例等	大田市自転車等駐輪場の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	良好な生活環境を確保し、自転車等の利用者の利便を図るため、自転車等駐輪場を設置する。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

		内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
収入	①使用料金収入				施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金				国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他				使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計				※グレーのセルは自動計算されます。	
		内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
支出	①指定管理料				指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用				施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	6,951円		保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			6,951円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			-6,951円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額			-33円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-19円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	温泉津駅前自転車等駐輪場			No.	170
大分類	14その他（普通財産を含む）				
小分類	駐車場・駐輪場				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	JR利用者用の駐輪場は、JRが整備しないため、市において施設を整備、維持管理する必要がある。近年の少子高齢化、モータリゼーションの進展、飛行機等他の輸送機関との競争等により、JR利用者が減少していることから、大規模修繕が必要になった場合は廃止あるいは縮小建替えを行う。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		施設の在り方について検討 (関係機関で協議)
第2期	2022年度	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)	進捗していない	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)
	2023年度	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成6年
建物延面積	56.74 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	警戒区域設定なし

関連条例等	大田市自転車等駐輪場の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	良好な生活環境を確保し、自転車等の利用者の利便を図るため、自転車等駐輪場を設置する。
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	89,432円	保険料、電気代、賃借料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		89,432円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-89,432円	市民一人あたり税金充当額	-3円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,576円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-245円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	仁万駅前自転車等駐輪場			No.	171
大分類	14その他（普通財産を含む）				
小分類	駐車場・駐輪場				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	仁摩
地区	仁万

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	JR利用者用の駐輪場は、JRが整備しないため、市において施設を整備、維持管理する必要がある。近年の少子高齢化、モータリゼーションの進展、飛行機等他の輸送機関との競争等により、JR利用者が減少していることから、大規模修繕が必要になった場合は廃止あるいは縮小建替えを行う。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
独自	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色			

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		施設の在り方について検討 (関係機関で協議)
第2期	2022年度	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)	進捗していない	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)
	2023年度	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成3年
建物延面積	70.00 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	警戒区域設定なし

関連条例等	大田市自転車等駐輪場の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	良好な生活環境を確保し、自転車等の利用者の利便を図るため、自転車等駐輪場を設置する。
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,148円	保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,148円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-1,148円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-16円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-3円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	温泉津線バス車庫		No.	172
大分類	14その他（普通財産を含む）			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	建物更新の予定はなく、老朽化により解体が必要となった際には解体する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
独自	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色			

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		解体の方針が決定。
第2期	2022年度	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)	進捗していない	解体の方針が決定したが、解体の時期については、検討が必要。
	2023年度	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和59年
建物延面積	32.00 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	急傾斜の崩壊：警戒区域

関連条例等	—
設置(目的等)	大田市生活バス温泉津線のバス車庫
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	26,569円	保険料、光熱水費	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		26,569円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-26,569円	市民一人あたり税金充当額	-1円/人
	延床面積あたり税金充当額		-830円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-73円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

### 1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	福光駅ふれあいギャラリー		No.	173		担当部署名	政策企画部まちづくり定住課	
大分類	14その他（普通財産を含む）							
小分類	その他							
個別施設計画（長寿命化計画）の策定有無	なし	個別施設計画（長寿命化計画）マニュアル・ガイドラインの名称				ブロック	温泉津	
有	計画名			計画期間			改定・見直し時期	
無	策定期限		今後の策定予定の有無	あり	策定しない場合理由			

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	温泉津
地区	福波

### 2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる施設評価チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を選択した理由	平成16年に新たなJR石見福光駅（福光駅ふれあいギャラリー）の建て替えを行ったので、当面大規模修繕はないが、将来、大規模修繕の必要が生じた時には、JR利用者の減少に併せて廃止あるいは縮小建替えを行う。							

### 3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期(2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		施設の在り方について検討 (関係機関で協議)
第2期	2022年度 施設の在り方について検討 (関係機関で協議)	進捗していない	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)
	2023年度 施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		
	2024年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成16年
建物延面積	70.70 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	警戒区域設定なし

関連条例等	—
設置(目的等)	J R石見福光駅舎の解体により、利用者の利便性を図るため、新たな施設として建設した。
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	51,700円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	161,234円	保険料、トイレ掃除、浄化槽法定検査料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		212,934円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-212,934円	市民一人あたり税金充当額	-7円/人
	延床面積あたり税金充当額		-3,012円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-583円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

### 1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	湯里ふるさと歴史館		No.	174
大分類	14その他（普通財産を含む）			
小分類	その他			
個別施設計画（長寿命化計画）の策定有無	なし	個別施設計画（長寿命化計画）マニュアル・ガイドラインの名称		
有	計画名			計画期間
無	策定期限	今後の策定予定の有無	あり	策定しない場合理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	温泉津
地区	湯里

### 2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる施設評価チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を選択した理由	平成17年に新たなJR湯里駅（湯里ふるさと歴史館）の建て替えを行ったので、当面大規模修繕はないが、将来、大規模修繕の必要が生じた時には、JR利用者の減少に併せて廃止あるいは縮小建替えを行う。							

### 3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期(2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		施設の在り方について検討 (関係機関で協議)
第2期	2022年度 施設の在り方について検討 (関係機関で協議)	進捗していない	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)
	2023年度 施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		
	2024年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成17年
建物延面積	48.60 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	急傾斜地の崩壊：特別警戒区域

関連条例等	—
設置(目的等)	JR湯里駅舎の解体により、利用者の利便性を図るため、新たな施設として建設した。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	178,901円	保険料、トイレ掃除、浄化槽法定検査料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		178,901円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-178,901円	市民一人あたり税金充当額	-6円/人
	延床面積あたり税金充当額		-3,681円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-490円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	仁万駅公衆便所			No.	175
大分類	14その他（普通財産を含む）				
小分類	公衆便所				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	仁摩
地区	仁万

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	JRから譲渡されたトイレを平成9年に改修を行ったので、当面大規模修繕はないが、将来、大規模修繕の必要が生じた時には、JR利用者の減少に併せて廃止あるいは縮小建替えを行う。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		施設の在り方について検討 (関係機関で協議)
第2期	2022年度	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)	進捗していない	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)
	2023年度	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成9年
建物延面積	27.00 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	警戒区域設定なし

関連条例等	—
設置(目的等)	旧JR仁万駅に設置されていたJR所有のトイレをJRより譲渡され利用者のために活用する。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	304,656円	浄化槽管理委託料、保険料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		304,656円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-304,656円	市民一人あたり税金充当額	-9円/人
	延床面積あたり税金充当額		-11,284円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-835円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田市駅トイレ		No.	176	担当部署名	政策企画部まちづくり定住課	
大分類	14その他（普通財産を含む）						
小分類	公衆便所						
個別施設計画（長寿命化計画）の策定有無	なし	個別施設計画（長寿命化計画）マニュアル・ガイドラインの名称					
有	計画名			計画期間			改定・見直し時期
無	策定期限		今後の策定予定の有無	あり	策定しない場合理由		

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる施設評価チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を選択した理由	平成21年に改修を行ったので、当面大規模修繕はないが、将来、大規模修繕の必要が生じた時には、JR利用者の減少に併せて廃止あるいは縮小建替えを行う。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期(2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		施設の在り方について検討 (関係機関で協議)
第2期	2022年度 施設の在り方について検討 (関係機関で協議)	進捗していない	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)
	2023年度 施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		
	2024年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成21年
建物延面積	21.08 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	世界遺産登録を機会に大田市の玄関口にふさわしい駅の改善を図る。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	572,505円	浄化槽管理料。保険料、トイレ清掃等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		572,505円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-572,505円	市民一人あたり税金充当額	-18円/人
	延床面積あたり税金充当額		-27,159円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-1,569円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	馬路駅トイレ		No.	177
大分類	14その他（普通財産を含む）			
小分類	公衆便所			
個別施設計画（長寿命化計画）の策定有無	なし	個別施設計画（長寿命化計画）マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	計画期間	
	無	策定期限	今後の策定予定の有無	なし

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	仁摩
地区	馬路

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる施設評価チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止 済
『該当する』を選択した理由	既に令和元年度に解体を行った。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
 ※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期(2028～2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
独自	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色			

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成9年
建物延面積	11.00 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	警戒区域設定なし

関連条例等	—
設置(目的等)	旧JR馬路駅に設置されていたJR所有のトイレをJRより譲渡され利用者のために活用する。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

### 1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	川合まちづくりセンター		No.	178
大分類	01市民文化系施設			
小分類	まちづくりセンター			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	中央
地区	川合

### 2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であり、又災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設である。 新耐震施設である。川合小学校との複合化、縮小建替えなど、複数の検討が必要。							

### 3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2028年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和59年
建物延面積	353.52 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	25,822円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		25,822円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	958,984円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		958,984円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-933,162円	市民一人あたり税金充当額	-29円/人
	延床面積あたり税金充当額		-2,640円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-2,557円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無								
	無	あり	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数			9962	8469	5383	5471	5770	7,011	82%

### 1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	朝山まちづくりセンター		No.	179
大分類	01市民文化系施設			
小分類	まちづくりセンター			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり
			策定しない場合 理由	施設評価結果に基づき、作成を検討する予定。

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	東部
地区	朝山

### 2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であり、又災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設である。 新耐震施設である。多機能を集約した形で複合化を目指すか、規模を縮小して建替えを行う。							

### 3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2028年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和63年
建物延面積	213.18 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	8,141円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		8,141円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	50,160円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	721,643円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		771,803円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-763,662円	市民一人あたり税金充当額	-23円/人
	延床面積あたり税金充当額		-3,582円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-2,092円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	有無	あり	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数			1562	1508	1086	1259	1550	1,393	111%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	長久まちづくりセンター		No.	180	担当部署名	政策企画部まちづくり定住課	
大分類	01市民文化系施設				ブロック	西部	
小分類	まちづくりセンター				地区	長久	
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
有	計画名			計画期間		改定・見直し 時期	
無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由	施設評価結果に基づき、作成を検討する予定。	

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であり、又災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設である。 新耐震施設である。多機能を集約した形で複合化を目指すか、規模を縮小して建替えを行う。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2028年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和63年
建物延面積	482.08 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	128,568円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		128,568円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	1,300,600円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,172,519円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		2,473,119円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-2,344,551円	市民一人あたり税金充当額	-72円/人
	延床面積あたり税金充当額		-4,863円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-6,423円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	あり	なし	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数			9332	14172	10076	11421	10317	11,063	93%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	池田まちづくりセンター		No.	181
大分類	01市民文化系施設			
小分類	まちづくりセンター			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
有	計画名			計画期間
無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	三瓶
地区	池田

改定・見直し 時期	
策定しない場合 理由	施設評価結果に基づき、作成を検討する予定。

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であり、又災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設である。 新耐震施設である。多機能を集約した形で複合化を目指すか、規模を縮小して建替えを行う。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2028年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和61年
建物延面積	295.80 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	14,189円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		14,189円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	63,030円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	790,884円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		853,914円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-839,725円	市民一人あたり税金充当額	-26円/人
	延床面積あたり税金充当額		-2,839円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-2,301円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	有	無	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数	あり		2619	2468	2495	1686	1657	2,185	75%

### 1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	祖式まちづくりセンター		No.	182	担当部署名	政策企画部まちづくり定住課	
大分類	01市民文化系施設				ブロック	高山	
小分類	まちづくりセンター				地区	祖式	
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
有	計画名			計画期間		改定・見直し 時期	
無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由	施設評価結果に基づき、作成を検討する予定。	

### 2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であり、又災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設である。 新耐震施設である。民間と多機能を集約した形で複合化を目指すか、規模を縮小して建替えを行う。							

### 3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2028年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成8年
建物延面積	230.25 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	15,150円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		15,150円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	104,500円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,170,430円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,274,930円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-1,259,780円	市民一人あたり税金充当額	-39円/人
	延床面積あたり税金充当額		-5,471円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-3,451円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	あり	なし	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数			2243	1839	940	1054	1428	1,500	95%

### 1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	福波まちづくりセンター		No.	183
大分類	01市民文化系施設			
小分類	まちづくりセンター			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
有	計画名			計画期間
無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	温泉津
地区	福波

### 2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であり、又災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設である。 新耐震施設である。温泉津小学校を活用している。継続管理を行う。							

### 3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通 項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
	利用開始							
独自	用途廃止・解体工事							
評価が達成される年度		2028年度						

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成8年
建物延面積	345.75 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	19,653円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		19,653円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	63,030円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	3,026,856円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		3,089,886円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-3,070,233円	市民一人あたり税金充当額	-94円/人
	延床面積あたり税金充当額		-8,880円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-8,412円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	有	無	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数	あり		1992	2002	1656	2477	2647	2,154	122%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	小浜会館		No.	184		担当部署名	政策企画部まちづくり定住課	
大分類	01市民文化系施設							
小分類	集会所							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称				ブロック	温泉津	
有	計画名			計画期間		地区	温泉津	
無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由	現指定管理期間満了後払い下げ予定		

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	③地域移管 済
『該当する』を 選択した理由	小浜会館運営協議会による指定管理期間が満了後、2023年度に地域へ払い下げ済。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2023年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	施設管理者と協議		指定管理期間満了後の管理について調整
	2022年度	施設管理者と協議	目標・取り組みを達成	2023年度での払い下げを決定。
第2期	2023年度	地域への払い下げを行う。		
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成20年
建物延面積	106.50 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市小規模集会所の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	地域住民の生活、文化の向上を図るため。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	8,053円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		8,053円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-8,053円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-76円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-22円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	有	無	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数	あり		1691	1786	1265	1080	1093	1,383	79%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	湯里中央会館		No.	185		担当部署名	政策企画部まちづくり定住課	
大分類	01市民文化系施設							
小分類	集会所							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称				ブロック	温泉津	
有	計画名			計画期間			改定・見直し 時期	
無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由	利用見込みが無いため。		

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	現在、活用の見込みが無く物置となっている。民間や地域移管の可能性について検討が必要。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		2028年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度	施設の在り方について方針の決定 (庁内及び地域による協議)	進捗していない	
	2023年度	施設の在り方について方針の決定 (庁内及び地域による協議)		
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成6年
建物延面積	530.00 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	—
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	39,319円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		39,319円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-39,319円	市民一人あたり税金充当額	-1円/人
	延床面積あたり税金充当額		-74円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-108円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

### 1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	宅野まちづくりセンター倉庫(旧仁摩町有線放送電話協会宅野支局)		No.	186	担当部署名	政策企画部まちづくり定住課			
大分類	14その他(普通財産を含む)							ブロック	仁摩
小分類	その他							地区	宅野
個別施設計画(長寿命化計画)の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画)マニュアル・ガイドラインの名称							
有	計画名			計画期間			改定・見直し時期		
無	策定期限	—	今後の策定予定の有無	あり	策定しない場合理由	施設評価結果に基づき、作成を検討する予定。			

### 2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる施設評価チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当する	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であり、又災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設である。当該施設は、耐震改修済みである。 その対応として④統合(仁摩伝統芸能伝承館との統合)、⑥縮小建替え(適正規模の施設)、複数の施設評価ができる。							

### 3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
 ※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期(2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2028年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成4年
建物延面積	9.00 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	—
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	753円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		753円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-753円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-84円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-2円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

### 1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	井田まちづくりセンター（旧井田小学校内）		No.	187
大分類	01市民文化系施設			
小分類	まちづくりセンター			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	温泉津
地区	井田

### 2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であり、又災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設である。 新耐震施設である。旧井田小学校を活用している。継続管理を行う。							

### 3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成10年
建物延面積	776.00 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	19,751円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		19,751円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	254,100円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,978,588円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		2,232,688円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-2,212,937円	市民一人あたり税金充当額	-68円/人
	延床面積あたり税金充当額		-2,852円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-6,063円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	有	無	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数	あり		4056	5018	2066	3144	3627	3,582	101%